

さいがい かじ じしん などがおこったときのお知らせについて

みやこじまくみん さいがいはっせいじ かじ
都島区民センターでは、災害発生時(火事のみ)には、

まず、じどうおんせい ひじょうほうそう なが
自動音声による非常放送が流れます。

つぎ かじ じしん さいがい はっせいげんいん はっせいかしよ
次に、火事や地震など、災害の発生原因や発生箇所の

じょうきょう かくにん ば じょうきょう おう ほうそう おこな
状況を確認したうえで、その場の状況に応じた放送を行います。

れいぶん つぎ
例文は、次のとおりです。

かんないほうそうないようれいぶん かじ
館内放送内容例文(火事の時)

【火災報知器(火事を知らせるベル)が、鳴ったとき】

き
気をつけて ください。

かじ し な
火事を知らせるベルが鳴っています。

いま つか
今は、エレベーターを 使わないで ください。

かじ あたら し
火事について 新しいお知らせが あるとき すぐに
し
知らせます。

ほうそう き
放送を よく 聞いて ください。

【火事に なったとき】

かじ かい も
火事です。○階の △△が 燃えています。

ちか かいだん たてもん そと に
近くの 階段で 建物の外へ 逃げて ください。

つか
エレベーターは 使わないで ください。

からだ ひく に
体を 低くして 逃げて ください。

くち はな に
タオルや ハンカチで 口や鼻を おさえて 逃げて ください。

ひと お に
人を 押さないで 逃げて ください。

しょくいん つか かた あんぜん に こうどう
職員は 使っている方が 安全に 逃げられるよう 行動して
ください。

【^{かさいほうちき}火災報知器（^{かじ}火事を ^し知らせる ^{ベル}ベル）が、^{まちが}間違いだったとき】

^{あんしん}安心して ください。

^{かじ}火事を ^し知らせる ^{ベル}ベルは ^{まちが}間違いでした。

^{かじ}火事は ありません。

エレベーターも ^{つか}使うことが できます。

かんないほうそうないようれいぶん じしん
館内放送内容例文(地震のとき)

じしん お
【地震が 起きたとき】

じしん
地震です。

あたま まも
頭を 守って ください。

エレベーターは つか
使わないで ください。

たてもん あんぜん しら
建物の 安全を 調べます。

また ゆ 揺れるかも しれません。き
気をつけて ください。

じしん あと に ひつよう
【地震の後、すぐに 逃げるのが 必要なとき】

じしん
地震です。

いま
今すぐ 逃げて ください。

たてもん こわ
建物が 壊れるかも しれません。

ちか かいだん たてもん そと に
近くの 階段で 建物の外へ 逃げて ください。

エレベーターは つか
使わないで ください。

ひと お に
人を 押さないで 逃げて ください。

しょくいん つか かた あんぜん に こうどう
職員は 使っている方が 安全に 逃げられるよう 行動して
ください。

【地震の後、建物が 大丈夫だったとき】

○時○分ごろ、△△で 地震が ありました。

おおさかしない しんど
大阪市内は 震度○です。

地震が ありましたが 建物は 大丈夫です。

エレベーターは 使うことが できます。

また 揺れるかも しれません。

きをつけて ください。

かんないほうそうないようれいぶん ばくはよこくなど
館内放送内容例文(爆破予告等のとき)

たてもの こわ
【建物を 壊すという 電話や 手紙が あったとき】

いま
今すぐ 逃げて ください。

たてもの こわ
この建物が 壊されるかも しれません。

いま けいさつ しら
今、警察が 調べています。

ちか かいだん たてもの そと に
近くの 階段で 建物の外へ 逃げてください。

ひと お に
人を 押さないで 逃げて ください。

しょくいん つか かた あんぜん に こうどう
職員は 使っている方が 安全に 逃げられるよう 行動して
ください。

たてもの こわ
【建物が 壊されたとき】

たてもの こわ
この建物が 壊されました。

いま
今すぐ この建物から 逃げて ください。

いま けいさつ しら
今、警察が 調べています。

ちか かいだん たてもの そと に
近くの 階段で 建物の外へ 逃げて ください。

ひと お に
人を 押さないで 逃げて ください。

しょくいん つか かた あんぜん に こうどう
職員は 使っている方が 安全に 逃げられるよう 行動して
ください。